

本時のねらい

・学習事項に対しての「問い」を生み出し、「問い」に対する自分なりの答えを導き出すことができる

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

・限られた授業時間の中だけで課題を完結させるのではなく、作成・交流・比較・評価を家庭学習にもつなげることを意識している。もう少し時間があれば成果物を深く読み込んで相互評価も行いたいと考えている生徒への配慮も意識した。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・大型提示装置
・Teams（説明の動画をいつでも見られるように保存しておくため）

本時の展開（全7時間計画：7時間目）

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (8分)	1. 本時の説明 ①作成したスライドについて、相互評価の観点の説明を行う。(写真1) ②交流の準備や課題の説明を行う。	・座席を移動することなく、一斉にタブレット上で交流することができる。
展開 (35分)	2. 交流・相互評価 ・クラスの仲間の FAQ パワーポイントを交流し、5つの観点で評価する。(写真2・3) 【相互評価の観点】 ①Qに対するAが適切か。 ②不必要な情報を加えていないか。 ③必要な情報がまとめられているか。 ④筆者がもともと伝えたい事柄についてQ&Aが各段落でまとめられているか。 ⑤この文章を読んだことがない人が理解できる内容（書き方の工夫）になっているか。 3. まとめ課題 ・文章を読み進める上で、疑問や興味を持つことの意義を自分の言葉で説明する。	・問題提起に対する質問をまとめるため、文章を要約する力を養うことができる。 ・タブレット上で交流することができ、教員のタブレットからも全員分を確認できるので、効率的である。 ・紙媒体であれば、提出してしまえばその後仲間の成果物を見直すことができないが、データで共有していれば家でも見直すことができる。また、授業時間内で交流が終わらなかつたとしても、自宅で進めることができる。
まとめ (7分)	4. 振り返り ・振り返り記入。	・振り返り、まとめ課題ともにデータ資料で行った。授業後も、資料を確認できることを伝える。

1人1台端末を活用した活動の様子

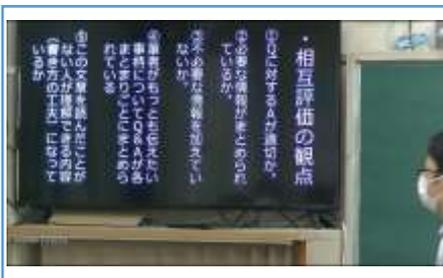


写真1：本時の評価の観点を説明しています。

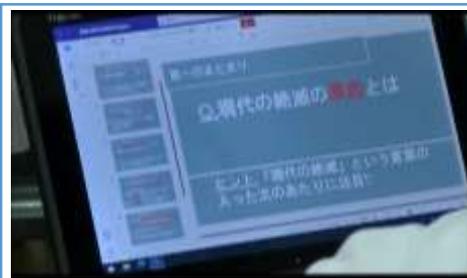


写真2：生徒が作成したパワーポイントです。



写真3：お互いの作成した資料を見て評価しています。

児童生徒の反応や変容

・パワーポイントを使用して作業することに慣れていましたが、forms のアンケート作成には課題が見られた。しかし、自分たちの作ったアンケートへの反応に対しては興味を示し、参考にしていく生徒が多かった。普段は一行で相互評価が終わっている生徒が交流の時間を授業時間以外にも確保されていたため、充実した内容になっていたと感じる。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・生徒の学習・作業のスピードはそれぞれなので、時間をかけてでも作りきったという成功体験を味わわせたい。そのためには、授業以外の家庭学習の時間も見込んだ課題作成の必要性を感じた。しかし、どこまでを紙媒体で行うか、どこまでをクラウド上で行うかは精査していかなければならない。タブレットの小さい画面で複数の資料を同時に活用していくことには課題を感じる。単元を見通して効率的に深く学習を進めることができるかを検討したときに、タブレットやICTの効果的な活用を意識することが大切だと思う。